



スキャンしてマニュアルを入手

KDS-SW2-EN7 クイックスタートガイド

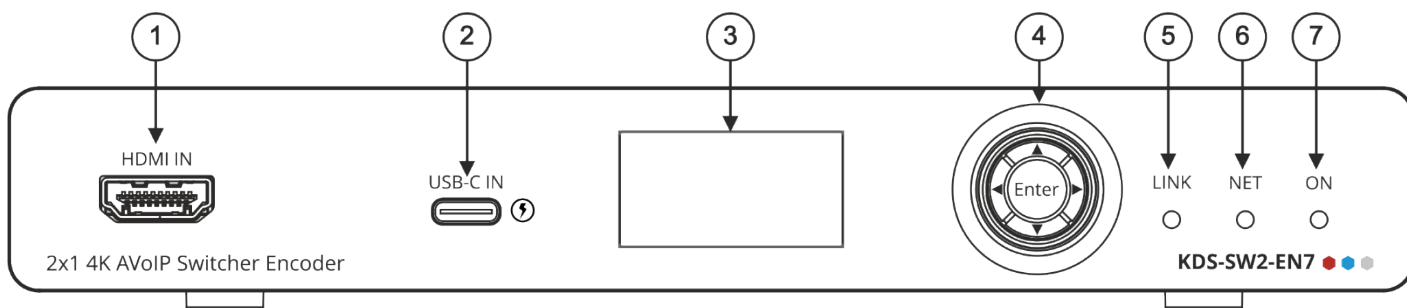
このガイドは、KDS-SW2-EN7を初めてインストールして使用するのに役立ちます。

www.kramerav.com/downloads/KDS-SW2-EN7 にアクセスして最新のユーザーマニュアルをダウンロードし、ファームウェアのアップグレードが利用可能かどうかを確認してください。

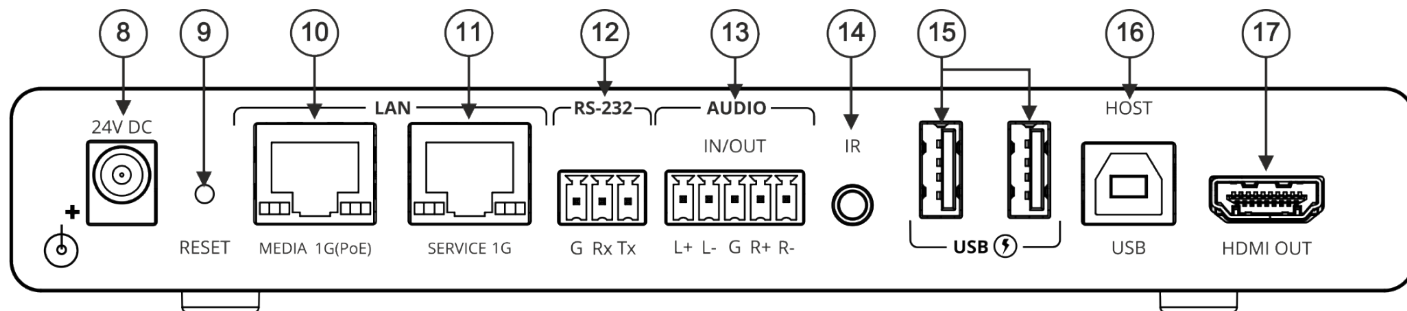
ステップ 1 : ボックスの内容を確認する

- ☑ KDS-SW2-EN7 2入力オートスイッチャー付きエンコーダー ☑ 1 取付用ブラケットセット ☑ 1 クイックスタートガイド

ステップ 2 : KDS-SW2-EN7の説明



No.	機能	説明	
1	HDMI IN コネクタ	HDMI ソースに接続します。	
2	USB-C IN ポート	USB-Cソースに接続します。 <ul style="list-style-type: none"> Kramer 24V 電源 (オプション) で電力を供給すると、(USB Power Delivery 2.0 をサポートする) ソースを最大60Wまで充電できます。 	
3	LCD ディスプレイ	入力選択、独自のチャンネル/AVストリーム設定、EDID などのデバイス設定に使用します。	
4	Menu ナビゲーションボタン	◀	押すと、前のメニューに戻ります。
		▲	押すと、次の設定パラメータに上方移動します。
		▶	押すと、次のメニューに進みます。
		▼	押すと、次の設定パラメータに下方移動します。
	Enter	押すと、変更を受け入れます。	
5	LINK LED	LEDの機能を参照	
6	NET LED	LEDの機能を参照	
7	ON LED	LEDの機能を参照	



No.	機能	説明
8	24V DC コネクタ	電源アダプタ (別売り) に接続します。
9	RESET 凹型ボタン	10秒間押し続けると、本機は工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。 すべての LEDが点滅します。

No.	機能	説明
10	LAN MEDIA 1G(PoE) RJ-45ポート	ユニキャスト：ストリーミングのためにデコーダに直接接続するか、LAN 経由で接続します。 マルチキャスト：複数のデコーダに接続するか、SERVICE (1G) ポート経由で複数のデコーダがデジチェーン接続されている 1台のデコーダに接続します。
11	LAN SERVICE 1G RJ-45ポート	セキュリティと信頼性を目的として、AV ストリームとコマンド ストリームを物理的に分離し、LAN を分離するためにオプションで使用されます。
12	RS-232 3ピン ターミナルブロックコネクタ	RS-232 機器に接続して、ゲートウェイおよび双方向信号延長として使用します(AV 信号が延長されていない場合でも)。
13	AUDIO IN/OUT 5ピン ターミナルブロックコネクタ	バランス アナログ ステレオ 音声ソース/アクセプターに接続します。
14	IR 3.5Φ ミニジャック	双方向信号延長のために IRセンサーまたはエミッターに接続します (AV信号が延長されていない場合でも)。IR受信機の期待電圧 - (3.3V)。
15	USB Type A 充電ポート(1、2)	スピーカーフォンやウェブカメラなどの USBデバイスを接続します。
16	HOST USB Type B ポート	USB ホストに接続します。
17	HDMI OUT コネクタ	信号をループさせるときに接続します。

LEDの機能

KDS-SW2-EN7 のLEDは次のように機能します：

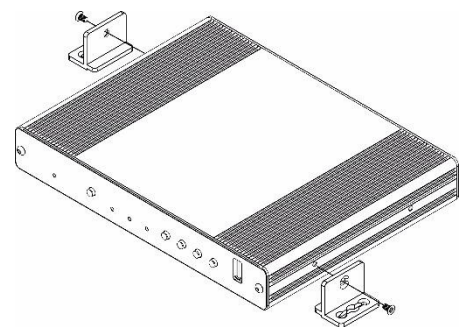
LED	色	説明
LINK LED	緑色に点灯	KDS-SW2-EN7 とデコーダーの間にリンクが確立され、A/V 信号が送信されています。
	緑色に点滅	信号が確立されていて、問題が検出されました。
NET LED	消灯	IPアドレスが取得できません。
	緑色に点灯	有効なIPアドレスが取得されました。
	緑色に非常に速く点滅 (60秒間)	デバイス識別コマンドが送信されました (Flag me)。
	黄色に点灯	デバイスはフォールバックされ デフォルトIPアドレスに設定されました。
	赤色に点灯	セキュリティが IPアクセスをブロックしています。
ON LED	赤色に点滅	フォールバック アドレスを取得すると、ON LED が 0.5/10秒の遅い周期で点滅し続けます。
	緑色に点灯	通電中です。
	緑色にゆっくり点滅	スタンバイモードです。
	緑色に速く点滅	ファームウェアがFWはバックグラウンドでダウンロードされました。
	緑色に非常に速く点滅 (60秒間)	デバイス識別コマンドが送信されます (Flag me)。
	黄色に点灯	デバイスはデフォルトの IPアドレスに戻りました。
	赤色に点灯	セキュリティが IPアクセスをブロックしています。

再起動後、すべての LED が 3秒間点灯し、通常の LED表示モードに戻ります。

ステップ 3 : KDS-SW2-EN7を設置する

次のいずれかの方法で、KDS-SW2-EN7 を設置します：

- ゴム製の脚を取り付け、ユニットを平らな面に置きます。
- 本体の両側にブラケット (付属) を固定し、平らな面に取り付けます。
(www.kramerav.com/downloads/KDS-SW2-EN7 を参照)



- 推奨のラックアダプタを使用して、本体をラックに取り付けます。
(www.kramerav.com/product/KDS-SW2-EN7 を参照)

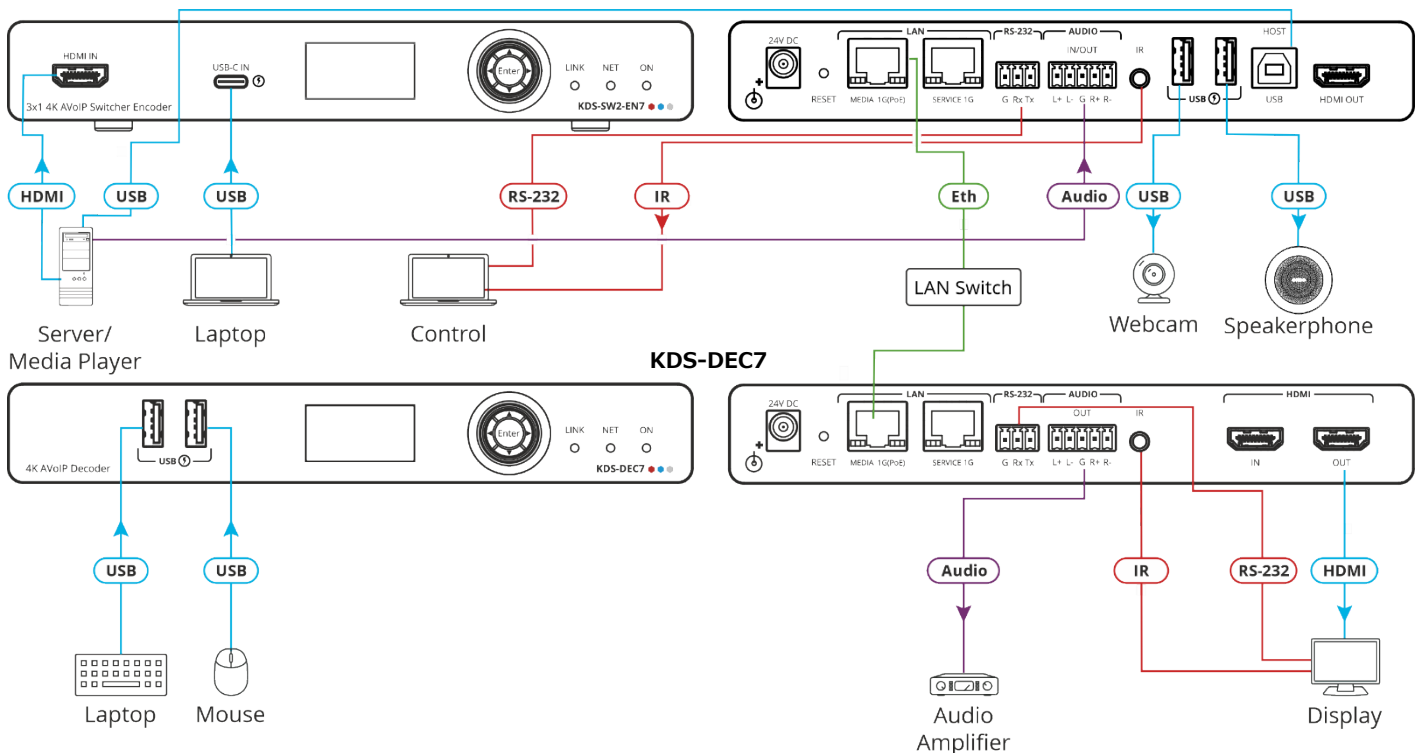


- 環境 (最大周囲温度や空気の流れなど) がデバイスに適合していることを確認してください。
- 不均一な機械的負荷を避けてください。
- 回路の過負荷を避けるために、機器の銘板定格を適切に考慮する必要があります。
- ラックマウント機器の信頼性の高い接地を維持する必要があります。

ステップ4：入力と出力を接続します

KDS-SW2-EN7 および KDS-DEC7に接続する前に、必ず各デバイスの電源をオフにしてください。

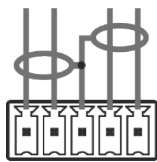
KDS-SW2-EN7



i KDS-SW2-EN7 および KDS-DEC7 は 4Kビデオをストリーミングできますが、高品質のパフォーマンスを得るには、ギガビットイーサネットスイッチが必要です。最大瞬間転送速度は850Mbpsに達します。マルチキャストフォワーディングまたはフィルタリング、IGMPスヌーピング、IGMPクエリア、IGMPスヌーピング高速リーブ、およびジャンボフレーム (8000バイト以上) をサポートする AVoIP イーサネットスイッチを使用することをお勧めします。

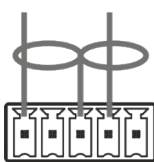
音声入出力の接続

バランスステレオ音声ソース/アクセプターへ：



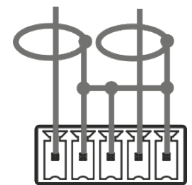
L+ L- G R+ R-

アンバランスステレオ音声アクセプターへ：



L+ L- G R+ R-

アンバランスステレオ音声ソースへ：



L+ L- G R+ R-

i 仕様通りの延長距離を達成するには、www.kramerav.com/product/KDS-SW2-EN7 で入手可能な推奨 Kramerケーブルを使用してください。サードパーティ製のケーブルを使用すると、仕様通りの性能が得られない、また損傷する可能性があります。

ステップ5：電源を接続します

デフォルトでは、デバイスは PoE を使用してデバイスに電力を供給します。オプションで、製品に接続して主電源に接続するための電源アダプタを別途購入できます。



安全上の注意（最新の安全情報については、www.kramerav.com を参照してください）

注意：

- リレー端子とGPI/Oポートを有する製品については、端子の横またはユーザーマニュアルにある外部接続の許容定格を参照してください。
- 本体内には、使用者が修理できる部品はありません。

警告：

- 本機に付属の電源コードのみを使用してください。
- 設置する前に、電源アダプタを主電源から外して電源を切ってください。

ステップ 6 : KDS-SW2-EN7の操作

LCD画面メニューによる IPアドレスの割り当て

KDS-SW2-EN7 のデフォルトIPアドレスは、192.168.1.39です。デフォルトでは、DHCP が有効になっており、デバイスに IP アドレスが割り当てられます。DHCPサーバーが利用できない場合、たとえば、デバイスがPCに直接接続されている場合、デバイスはデフォルトの IPアドレスを取得します。この IPアドレスがすでに使用されている場合、システムは 192.168.X.Y の範囲でランダムな一意の IP を検索します。割り当てられた IPアドレスは、LCD画面のメニューを使用して確認できます。

LCD画面メニューから IPアドレスを割り当てるには：

1. デバイスを 24V DC電源アダプタに接続し、アダプタを主電源に接続します。ON LED が緑色に点灯し、LINK LED が点滅します (ストリーミング アクティビティが検出されていないことを示します)。
2. ナビゲーション ボタンを使用して、割り当てられた IPアドレスを LCD画面に表示します：
 - DEV STATUS > LAN1 Status
 - DEV STATUS > LAN2 Status (Serviceポートが接続されている場合)

チャンネル番号の設定

各エンコーダには一意のチャンネル番号が必要です。接続されているすべてのデコーダーは同じチャンネルに同調する必要があります。チャンネル番号は、LCD画面メニューまたは内蔵Webページを使用して設定できます：

LCD画面メニューで、KDS-SW2-EN7にチャンネル番号を設定します：

1. デバイスを 24V DC電源アダプタに接続し、アダプタを主電源に接続します。ON LED が緑色に点灯し、LINK LED が点滅します (ストリーミング アクティビティが検出されていないことを示します)。
2. LCD画面メニューで、DEV SETTINGS > CH DEFINE に移動します。
3. 矢印ボタンを使用してチャンネル番号を変更し、一意のチャンネル番号を設定します。
4. Enter を押して選択内容を保存します。

Webページからチャンネル番号を設定するには：

1. KDS-SW2-EN7 イーサネット ポートをネットワークに接続し、デバイスに電力を供給します。
2. 内蔵Webページにアクセスします。
3. メインページ内：

KDS-SW2-EN7：

- **AV Routing** ページに移動します。
- **Channel ID** を選択し、チャンネル ID番号を設定します。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI Logoという用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。